



題字：瀬戸谷中学校 令和3年3月卒業生 ふもと みづき いちかわ ひまり やまだ みお
 麓 美月さん 市川向日葵さん 山田海桜さん



お洒落な田園風景（高洲地区）
 撮影：吉田 征一さん

Vol.
 218

令和3年5月20日



AIシャワー… AI(人工知能)を用いた濾過(ろか)装置を使い、シャワーを供給するシステム

災害時に必要な資機材の物資の運搬やAIシャワーの搭載を可能とする「藤枝式多目的支援車」を導入し、災害時に強いまちづくりを進めます。

4K施策デジタル化推進事業費

市議会からの提言

有効性が確認できた事業の実用化を！

680万円

(IoT活用推進事業費)



750万円

4K重点施策(健康・教育・環境・危機管理)について、ICTを活用した市民サービス向上や地域課題の解決に向けた実証実験を進め実用化を目指します。また、令和2年度の実証実験により、有効性を確認した「オンライン健康相談」を令和3年度から健康推進課で本格導入します。また、「高血圧予防」等は4K施策のデジタル化として、食生活提案アプリの実証範囲を広げ、実用化を目指します。

購買履歴から食生活を提案



から予算へ反映

せつ 滞経費

について早急な対策を！

4,000万円



子ども育成支援事業費

市議会からの提言

NPO法人への支援内容の充実を！

660万円



840万円

子どもの健全育成や養育が十分でない家庭に対する支援活動を行うNPO法人のさらなる体制充実のため、支援スタッフ増員のための人件費を委託料に上乗せしました。



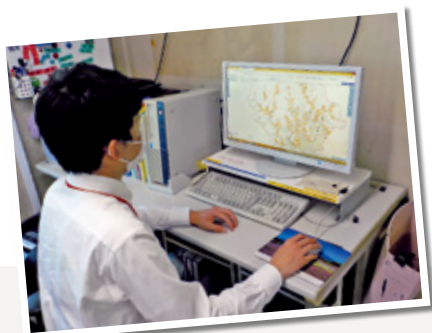
2月定例会議会では令和3年度当初予算を審議し、一般会計546億8千万円、特別会計314億6,700万円、企業会計298億4千万円を可決しました。予算編成にあたり、市議会の提言が反映された事業をご紹介します。

危機情報伝達事業費・水防対策情報受信経費

市議会からの提言

風水害時のGIS機能の充実を！

350万円 → 962万円



避難対象者抽出システムと防災緊急配信システムを新たに導入し、GIS機能（地理情報システム）の活用と併せ、災害時情報伝達体制の強化を図ります。

防災資機材整備事業費

市議会からの提言

AIシャワーの活用充実を！

1,893万円



4,300万円

市議会の提言

森林環境整備推進事業費

市議会からの提言

森林環境基金の効果的な活用、ハザードマップに基づくさらなる間伐等の対策を！

2,490万円 → 2,780万円



本市の実情を考慮し、計画的かつ効果的な森林整備を進めます。また、関係各課と連携し、里山林の危険個所の早期発見で山地災害を防ぎます。

河川^{しゅん}浚

市議会からの提言

水害が想定される地域

1,300万円 →

浸水被害が懸念される地区の対策として「法の川」と「大溝川」の川底に堆積した土砂や雑草を取り除き、河川水位の上昇を抑えます。



藤新会
数崎幸裕
議員



市長の施政方針を問う

問 現状、コロナ禍はまず耐える時かと思うがアフターコロナを見据えた施策の展開は。

答 行政のデジタル化と脱炭素社会の構築、戦略的土地利用によるコンパクト＋ネットワークのまちづくりを推進する。

令和3年度予算について伺う

問 過去最大規模の予算の意図する所は。

答 コロナ感染症対策、コロナ後を見据えた経済の再構築と新たな生活様式への転換、今後の成長軌道となる施策を着実に進め、「幸せになるまち・藤枝」の実現を目指す。

問 新型コロナウイルスの予算への影響は。

答 市民税に8億円の減収を見込んでいる。財政調整基金を取り崩して対応する。

問 来年度の主要事業は。

答 総合運動公園の再整備
蓮華寺池公園の整備
陶芸村構想の推進（道の駅）
仮宿高田線整備
天王町仮宿線整備
茶町大谷線(原)地区整備
中心市街地再開発事業
企業立地促進事業
南部地区公園整備
空き家対策活用事業
子育てファミリー移住定住促進事業 等々

問 蓮華寺池公園整備は「あずまそ」の裏山を削って鬼岩寺からお姫平公園、若王子古墳^{ちようかん}を結んで周遊道として、道から池が鳥瞰出来るようにすべきではないか。

答 今の事業費は菖蒲園及び野外音楽堂の整備である。意見は検討する。

問 総合運動公園の再整備は、野球場の内外野スタンド整備やベンチ横へのトイレの設置、駐車場整備、陸上競技場のレーンの改良等課題があるが伺う。

答 課題は承知しているがまずは藤枝MYFCのJ2加入条件を満たしてから。他にも駐車場が足りないなら中央公園を駐車場にして足りない部分を補う。

問 小中一貫教育を推進と言っているが、同一敷地内で教育が行われることが本分ではないのか伺う。

答 本市は施設分離型方式を取っている。中学教師が小学校へ伺う授業の実施により確かな学力と指導力の向上が図れる。

問 朝比奈第一小では複式学級が行われている。岡部小と6キロ以内でバスも走っている。子供の為には統合すべきだ。

答 一度地域の多くの人の意見を聞いて検討する。

問 四市二町圏内はコロナで医療は逼迫しているか。

答 市内でも数名の感染者が発表されたが、現在、医療現場は落ち着いており、医療崩壊は起きていない。

問 ワクチン接種に対する対策は。

答 接種体制は志太医師会の協力も得て万全である。接種券を3月中旬に発送、4月から接種、場所は集団接種として市民体育館、浄化センター、保健センターで、他に個別接種として約30の診療所と高齢者入所の施設での訪問接種を予定している。

※ワクチン接種に関する掲載内容は令和3年2月当時のものです。現在、接種券を4月下旬より85歳以上から順次発送し、5月から接種が開始されました。最新の情報は12ページをご覧ください。



市民クラブ
岡村好男
議員

第6次総合計画スタート年の方針は

問 令和3年度の財政見通しと財源の確保を伺う。**答** 市税収入は、前年度比8億円減。各種交付金の収入減少が見込まれる中厳しい状況。しかし財源確保については、臨時財政対策債や今日まで有事のために積み上げてきた財政調整基金(預金)等々で令和3年度予算は546億8千万円の過去最大の積極的予算を編成した。**問** コロナ・教育費等々支出が増大する中、自治会・町内会からの整備要望の予算措置状況を伺う。**答** 自治会・町内会要望は、道路拡幅・新設、河川の維持管理の予算を増額させ10億4千6百万円を確保した。

感染症のワクチン接種についてどう取り組むか

問 ワクチンの接種体制と運営体制について伺う。**答** ワクチン接種は個々の医療機関が行う個別接種と市が行う集団接種、施設入所者の訪問接種の3つの接種方式。市が取組む集団接種会場は浄化センター・市民体育館・保健センターの3会場で、本市の部局を3つに分け着実な運営に万難を排す。**問** 副反応発生時の備えの対応について伺う。**答** 個別接種は、各医療機関で対応し、かかりつけの医師による適切な治療、集団接種会場では酸素ボンベやアナフィラキシーショックに有効な薬剤等を常備し、医師や看護師に加え、救急救命士を備えた体制とする。

新型コロナウイルスワクチン接種模擬訓練の様子

子ども教職員が、希望あふれる学校とするために

問 学校現場において教職員が、本来の教育活動に専念できる環境づくりについて具体的に伺う。**答** 教員以外でもできる仕事は勿論、部活動指導やICT教育補助などの専門性の高い業務についても、保護者や学校サポーターズクラブ等の地域人材の力を借り、一層の教育効果を上げることが地域に発信していく。来年度市内全地区で、開始されるコミュニティスクールの体制を活かし、地域の方にも学校運営に参画してもらうことにより、学びの学校環境づくりを推進していく。

子育て支援・高齢者施策・障がい者就労支援策は急務

問 子ども未来応援局新設への市長の思いを伺う。**答** 子育てと仕事の両立支援策として、保育所や放課後児童クラブの受入体制の強化、また保育所職員の働きやすい職場づくりを推進していく。また、発達に課題のある児童と家族に対する支援を強化するため、子ども発達支援センターを本庁に移転し、保育所などの巡回相談を充実させ、児童部局と教育部局の連携を強化し、就学前から学齢期までの、途切れない支援体制を構築していく。

高洲南小学校区に地区交流センター設置の実現に向けて

問 高洲地区の世帯数・人口構成規模は市内で2番目、そして利用状況の推移をみても一箇所のみのコミュニティ拠点では限界にきつつあるのが実情である。そうした中での高洲全域の総意の要望について当局の考えを伺う。**答** 昨年高洲自治会より要望を受けた。少子高齢化により本市の人口も減少に向かう中、高洲地区の人口は増加傾向であり、施設の利用者も多いことなどから、本市としてもコミュニティ機能の充実は認識している。今後市全体のバランスを踏まえ、コミュニティ機能を中長期的に検討していく。

高洲地区ふれあいまつりの様子



志大創生会
平井 登議員



情報デジタル推進課の新設

問 市民サービス、市役所業務のデジタル化を推進させるために「デジタル統括監」をソフトバンク社から招聘するが役割を伺う。

答 新たな生活様式への転換が進む中、「情報デジタル推進課」を新設し多面的なデジタル化を中長期的に進める。その構築と実効性を高めるための取組を総合的に指南いただく役割である。

子ども未来応援局

問 「児童課」「子ども家庭課」と同じ西館4階に、福祉センターきすみれ内にある「子ども発達支援センター」が移され、新たに「子ども未来応援局」として一体化されるが、これによるメリットを伺う。

答 子どもに係るあらゆる相談や手続きをワンフロアで行えるなど、子育て世代の利便性が向上し、3課及び同フロアの教育部局が連携できるなど、迅速かつ包括的な相談対応が可能となる。

市立総合病院に「臨床研究センター」新設

問 同センター新設とともに治験管理室、臨床研究管理室が設置されるが、機能・役割等を伺う。

答 治験管理室は現在行っている新薬を中心とした治療薬の効果検証に加え「がんゲノム医療連携病院」の指定を目指す上で欠かせない役割がある。また、臨床研究管理室は、治験や診断、治療のための医学的データを得る臨床試験を一元的に管理する。両管理室の体制整備により「県立静岡がんセンター」の連携病院としての役割を目指す。

新型コロナウイルス感染症対策

問 海外からのワクチン入荷の遅れが懸念されている。その場合の対策は考えられているか伺う。

答 国・県の接種スケジュールに則り、接種券の発送と同時にコールセンターを設置し問い合わせに対応する。また、集団接種会場の体制やワクチンの配送等、準備を進めているが、本市へのワクチン供給の時期と量の提示を基に接種予約を開始する。

問 コロナ禍による収入減で生活困窮や事業経営が困難になっている市民に対し、一元的に対応できる相談窓口を設置したらどうか。

答 自立生活サポートセンターが窓口となり、貸付金や住居確保支援、食糧支援、就労支援等を行っている。経営困難になった事業者支援は「エフドア」、商工会議所、金融機関等で資金繰りや補助金、雇用関連等の個々の相談窓口を設置している。

快適な交通環境づくり

問 地域の実情に合った次世代交通等の導入に向け、調査・検討すると示されたが具体的にどのような調査と検討を行い、地域ニーズに合う交通環境づくりを図られるのか。

答 移動手段に関する市民ニーズを把握するため住民意向調査を行う。また、従来の公共交通に替わり高齢者をはじめ、すべての市民が利用しやすい公共交通としてＩＣＴやＡＩを活用した乗合タクシーやグリーンスローモビリティと言われる低速で移動する小型電気自動車の活用を研究する。

移住・定住促進の充実

問 「お試し移住」事業の対象年代や入居先等を拡大し、空き家や空き室を低家賃で数年間提供し、その間に本市内で定住先を探し決めてもらうようにワンクッション置ける移住促進策が有効と考えるが如何か。

答 移住を決断するためには一定期間、実際に本市での暮らしを体験してもらうのは大変有効であるので実施を検討する。



石井通春
日本共産党
議員

来年度の市のコロナ対策から

① 市民が求める情報公開

問 感染症対策で大事な点は検査数や陽性率など、必要かつ正確な情報を市民に提供しそれに基づく施策を行う事では。

答 感染症法や国の公表に係る基本方針では、公表に当たって差別や偏見が生じないよう個人情報に留意しなければならないとしている。

問 法も指針も感染を最小限にするのに発生状況等正確な情報の積極的な公開を求めているはず。検査数や陽性率は保護しなければいけない個人情報に該当するのか。

答 法や方針の理念はその通りで、保護する個人情報には該当しない。必要な情報は公表する。

② ワクチンとPCR検査

問 ワクチンの確保が進まない中で予約を伴う接種券の配布を急ぐべきではない。

答 滞りなく接種が出来るよう事前に環境を整え、正確な情報を掲載したチラシを各世帯に配布する。

問 昨年9月議会で求めた無症状者への検査が1月より介護施設入所者から始まっているが、来年度予算(1500万円)で必要な確保になっているか。

答 感染拡大の状況を見つつ、打切りとならないよう補正予算等で対応する。

③ オリンピック関連予算の執行は慎重に

問 オリンピックは中止すべきと考えるが、市は来年度醸成の予算(7000万円)を計上している。執行は慎重にすべき。

答 開催の可否はIOCが判断するものだが、情報収集に努めながら慎重に予算執行する。

市が推進するデジタル自治体は市民利益の向上となるか

問 デジタル化を求める住民の声がどれほどあったのか。

答 効果的な活用は市民負担軽減になり行政の責務。市の責任である。

問 自治体クラウド(個別自治体の情報が国や民間企業によって共有化される)になれば、自治体の独自サービスや個人情報保護が破壊され自治体の自立性がなくなる。デジタル化によって行政サービスの低下につながらないよ

う確約すべきではないか。

答 国が示してくる情報と突合してサービス低下につながらないよう取り組む。

問 例えば住民票一つ求める市民で、その理由によっては課税証明や減免申請が必要な場合、そのニーズに対してデジタルはどう応えられるか。対面でなければわからない市民ニーズに応じてこそ住民の身近な窓口ではないか。

職員をデジタルに置き換えるスマート自治体は多様な住民ニーズに応えるものではなく、デジタルを使えない高齢者等への対策も不可欠だ。

答 手続きのデジタル化は誰にも優しく使いやすいものであることが大切。高齢者対策は教室開催や代替手段などを講じる。

問 習熟を求める事が利便性の向上になるのか。

答 身近な場所での手続支援やオンライン以外の手続きの拡充も検討する。

住民要望に基づく高洲南小学校区への児童館の建設を

問 自治会連合会高洲支部から高洲南小学校区へ地区交流センターの建設要望が出されている。かねてから指摘しているが南小学校区は子供数に対し公園等が少ない事は当局も認めている。

児童館の設置基準は、集会室、遊戯室、図書室が必須とされているが、地区交流センター(公民館機能)で原則必要とされる機能と共有でも可能。今後高洲南小学校区で検討を進める場合、併せて児童館機能も進めるべきではないか。

答 コミュニティ機能の充実を認識しているが、市全体のバランスを考え検討する。

問 高校生までの就学児童を対象とした児童館は、市内に未だない。子育てを標榜する市として、建設をすすめるべき。

答 児童館に準じる施設として、れんげじスマイルホールや地域子育て支援センターがあるが、まずはニーズの把握に努める。

問 スマイルホールや支援センターの入場者の9割が幼稚園等未就学児である。公民館との複合施設である初倉児童館(島田市)は利用者の半分以上が就学児童。竹馬や将棋など旧来の玩具でも子供はのびのびと過ごし居場所となっている。そうした面からも検討を。

答 施設の必要性を調査する中で建設を含めて研究検討する。

高洲南小学校区に交流センターと児童館を
(写真は高洲地区交流センター)



公明党
山本信行
議員



「令和3年度の予算編成及び施政方針」について

問 ワクチン接種のV-SYS（ワクチン接種円滑化システム）や接種記録等の職員の負担軽減について伺う。

答 V-SYS等への入力やワクチン配送については、担当1課のみでなく、健やか推進局として対応する。

さらに、集団接種の運営に関しては、全庁で対応することで、職員の負担を減らすよう取り組んでいく。



問 スポーツ文化観光部創設について、インバウンドの回復が困難な中、今後の情報発信について伺う。

答 中部横断自動車道が開通する事により期待される山梨県、長野県、新潟県等に向けSNSや動画配信など観光プロモーションを発信していく。

問 昨年の日本遺産の認定を受け、我がまちの宝を市民にどうアプローチしていくか伺う。



日本遺産の1つとして認定された「岡部宿大旅籠柏屋」

答 地域に誇りを感じていただくシビックプライドの醸成が重要であり、若い世代に関心がある食や体験に特化した親子体験学習旅行等、展開していく。

問 戦略的土地利用の農家の担い手について伺う。

答 農地の集積・集約化による規模拡大、補助事業を活用した機械導入や施設整備への支援を通じ、経営基盤強化を図る。

問 情報デジタル推進課の創設について、これまで以上に大幅にデータが増えることが予想される。システムの再構築の必要性を伺う。

答 今後の状況を踏まえて民間サービスの利用も考え対応していく。

問 臨床研究センター新設について、今後の病院職員の体制を伺う。

答 中部地域には無い緩和ケア病棟を視野に入れながら、志太榛原地域の医療を牽引する病院を目指し体制強化を考える。

問 藤枝市業務継続計画（BCP）について、公表すべきと考えるが伺う。

答 令和3年度の組織改編に伴う計画の修正を行い、計画の精度を高めて公表を検討していく。

問 今後、自主防災会の防災意識向上をどのように取り組んでいくのか伺う。

答 実効性の高い防災計画書が地域の皆さまに確実に伝わり、地域と一体となるよう指導、助言をしていく。



2月定例月議会で審議された議案

◆出席した全議員が認めた議案◆

議案番号	議 案 名
第1号議案	令和3年度藤枝市一般会計予算
第2号議案	令和3年度藤枝市国民健康保険事業特別会計予算
第3号議案	令和3年度藤枝市土地取得特別会計予算
第4号議案	令和3年度藤枝市駐車場事業特別会計予算
第5号議案	令和3年度藤枝市介護保険特別会計予算
第6号議案	令和3年度藤枝市後期高齢者医療特別会計予算
第7号議案	令和3年度藤枝市内陸フロンティア事業特別会計予算
第8号議案	令和3年度藤枝市病院事業会計予算
第9号議案	令和3年度藤枝市水道事業会計予算
第10号議案	令和3年度藤枝市下水道事業会計予算
第11号議案	令和2年度藤枝市一般会計補正予算（第8号）
第12号議案	令和2年度藤枝市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
第13号議案	令和2年度藤枝市土地取得特別会計補正予算（第1号）
第14号議案	令和2年度藤枝市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
第15号議案	令和2年度藤枝市介護保険特別会計補正予算（第3号）
第16号議案	令和2年度藤枝市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
第17号議案	令和2年度藤枝市内陸フロンティア事業特別会計補正予算（第1号）
第18号議案	令和2年度藤枝市病院事業会計補正予算（第3号）
第19号議案	令和2年度藤枝市下水道事業会計補正予算（第1号）
第20号議案	藤枝市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
第21号議案	藤枝市消防団条例の一部を改正する条例
第22号議案	藤枝市部設置条例の一部を改正する条例
第23号議案	藤枝市民体育館条例の一部を改正する条例
第24号議案	藤枝市武道館条例の一部を改正する条例
第25号議案	藤枝市指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
第26号議案	藤枝市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
第27号議案	藤枝市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
第28号議案	藤枝市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
第29号議案	藤枝市介護保険条例の一部を改正する条例
第30号議案	藤枝市勤労者福祉センター条例の一部を改正する条例
第31号議案	藤枝市地区計画区域における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
第32号議案	藤枝市手数料徴収条例の一部を改正する条例
第33号議案	市道路線の廃止について
第34号議案	市道路線の認定について
第35号議案	志太広域事務組合規約の変更について
第36号議案	令和2年度藤枝市一般会計補正予算（第9号）
第37号議案	令和2年度藤枝市一般会計補正予算（第10号）
第38号議案	令和2年度藤枝市病院事業会計補正予算（第4号）
第39号議案	令和2年度藤枝市下水道事業会計補正予算（第2号）
第40号議案	令和3年度藤枝市一般会計補正予算（第1号）

2月定例月議会で審議された議案

◆出席した全議員が認めた議案◆

議案番号	議 案 名
第41号議案	令和3年度藤枝市下水道事業会計補正予算（第1号）
第43号議案	建設工事委託協定の締結について（国道1号藤枝バイパス及び都市計画道路天王町仮宿線の立体交差新設工事）
第44号議案	教育長の任命について
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議案第33号	日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書
発議案第34号	新型コロナウイルス感染症の対応に関する意見書
発議案第35号	藤枝市議会会議規則の一部を改正する規則
発議案第36号	藤枝市議会委員会条例の一部を改正する条例

◆賛否の分かれた議案◆

○賛成 ×反対 一欠席

議案番号	議員名（議席順）	八木	川島	増田	天野	山川	深津	神戸	多田	鈴木	平井	遠藤	山本	油井	松寄	山根	小林	石井	大石	岡村	大石	植田	藪崎
案件・結果		勝	美希子	克彦	正孝	智己	寧子	好伸	晃	岳幸	登	久仁雄	信行	和行	周一	一	和彦	通春	信生	好男	保幸	裕明	幸裕
第42号議案	建設工事委託協定の締結について（藤枝総合運動公園サッカー場改修工事）	可決	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	※	○	○

※議長は採決には加われません。

人事案件

次の人事案件について、本議会は、同意することに決定しました。

◆第44号議案

教育長の任命

中村 禎さん（志太三）

◆諮問第1号

人権擁護委員

石川 茂雄さん（田沼四）

◆諮問第2号

人権擁護委員

八木 京子さん（駅前一）



可決された議員発議

2月定例月議会において議員提出による発議案（うち意見書2件）が提出され、原案のとおり可決しましたのでお知らせします。詳細はQRコードからご覧ください。

◆発議案第33号

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書



◆発議案第34号

新型コロナウイルス感染症の対応に関する意見書

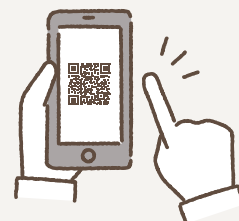


◆発議案第35号

藤枝市議会会議規則の一部を改正する規則

◆発議案第36号

藤枝市議会委員会条例の一部を改正する条例



常任委員会審査レポート

ピックアップ!

総務文教委員会

第11号議案

令和2年度藤枝市一般会計補正予算（第8号）

◎債務負担行為（令和3年度～令和6年度）

本会議
可決

～令和6年度完成をめざし、

藤枝総合運動公園サッカー場の改修工事がスタート～ 20億1,400万円

藤枝総合運動公園は、市の総合的な防災拠点として位置付けられており、大規模災害時における防災関係機関の集結地機能を備えたサッカー場に、避難機能や物資備蓄機能を新たに確保し、停電時の予備電源機能に関しては2時間の蓄電から3日間の蓄電になるなど充実を図ることを目的とした工事となります。併せてJ2クラブライセンス基準を満たす絶好の機会でもあり、サッカーのまち藤枝を代表するサッカースタジアムとして、市民の誰にも親しまれる施設として期待でき、委員会としても可決すべきものと判断しました。



▲現在のサッカー場現地審査のようす

健康福祉委員会

第40号議案

令和3年度藤枝市一般会計補正予算（第1号）

～新型コロナウイルスワクチン接種

体制確保事業費～

4億9,675万円

本会議
可決



▲新型コロナウイルスワクチン接種模擬訓練のようす

市民の皆様が、安全かつスムーズにワクチン接種が出来るよう、国の補助金を活用し、予約も含めた、ワクチン接種体制の確保のための補正予算とのことで、委員会としても必要な補正予算であり可決すべきものと判断しました。

建設経済環境委員会

第37号議案

「令和2年度藤枝市一般会計補正予算（第10号）」

◎旧藤枝製茶貿易商館活用事業費

～蓮華寺池公園敷地内での開館に向けた、
旧藤枝製茶貿易商館の再生・活用に係る解体・
建築工事等費用～

本会議
可決

6,500万円

スマイルホール側駐車場から移動する際の交通安全対策と、周辺環境の整備について質疑し、委員会としても可決すべきものと判断しました。



▲完成イメージ

議長メッセージ

市民の皆様には、日頃から感染拡大防止対策に取り組んでいただき、深く感謝を申し上げます。その様な中、令和3年度が始まって間もない4月初旬、藤枝市議会議員から2名の感染者が出てしまったことは誠に残念であり、心からお詫びを申し上げます。

市議会といたしましては、コロナ禍における議会運営を模索し、感染防止対策を徹底しながら令和2年度の議会を運営してまいりましたが、今後は議員一人一人がさらに意識を高め一層の緊張感をもって感染拡大防止に取り組んでまいります。

重ねてお詫びを申し上げますとともに、今年度の議会運営におきましても滞りなく進めていくことが出来ますよう努めてまいります。

藤枝市議会 議長 大石保幸

新型コロナウイルスワクチン接種について

●接種クーポン券の発送について

国が定めた優先順位に基づき、まずは、高齢者への接種が計画されています。

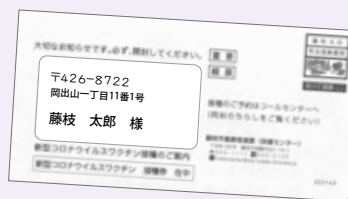
5月は、ワクチン供給量が少ないため、右記の年齢区分により「接種クーポン券」が順次発送されます。

85歳以上…発送済

75～84歳…5月中旬以降

65～74歳…5月下旬以降

65歳未満の人については、ワクチンの供給状況などにより、改めてお知らせされます。



STEP 1

郵便で
クーポンが届く

STEP 2

予約サイトまたはコール
センターで接種日・接種
会場を予約

STEP 3

予約した会場で
ワクチン接種

※住民基本台帳に登録されている住所に送付されます

●接種開始日について



集団接種	会 場	開始日	時 間
	市民体育館（駅前3-21-1）	5月7日(金)～	月～金曜日：午後1時半～3時
	浄化センター（城南3-2-1） ※外階段から2階へ入場（エレベーターはありません）。	5月10日(月)～	月～金曜日：午後1時半～3時 ※木曜日は午後5時まで
	保健センター（南駿河台1-14-1）	5月15日(土)～	土曜日：午後1時半～5時

個別接種

市内約30の医療機関で接種を予定しています。

5月17日(月)以降、各医療機関において接種可能となった日から順次開始します。

詳しくは、広報ふじえだや市ホームページなどでご確認ください。



●移動手段がない人への支援について

自家用車を保有していない人などに、平日「集団接種会場」までのタクシーでの移動を支援します。

料 金：片道200円/接種人数

区 間：自宅⇄集団接種会場まで

予約方法：コールセンターで申し込み

詳しい内容は、クーポン券に同封するお知らせで確認ください。
※タクシーの台数に限りがあります。あらかじめご了承ください。

接種に関する問い合わせ（藤枝市コールセンター） ☎050・5491・1248

平日：午前9時～午後5時（4月～6月は土日祝日も対応）

ワクチン接種予約サイト

🌐<https://gvi-reserve.azurewebsites.net/fujieda>



藤枝市LINE公式アカウント

市公式LINEからも予約サイトへアクセスできます。





藤新会

山川 智己 議員



藤枝市立総合病院における 地域がん診療連携拠点病院(高度型)について



問 施設整備を含めた今後の取り組みについて

答 藤枝市立総合病院では、がん患者や家族の方々に寄り添いながら対応するため、緩和ケアのさらなる充実を図っていく。そこで、県中部地区で初めてとなる「緩和ケア病棟」を設け、より深く関わり丁寧に見守るがん医療の提供と、がんに向かい合う医療環境の整備に努めていく。具体的には、「緩和ケア病棟」の令和5年度の開設を目指していく。

問 手術室増築完成後における運用の見通しについて

答 最新型の手術支援ロボット「ダヴィンチXi」による手術の保険適用が認められるために、まずは手術実績が必要となることから、手術が必要な紹介患者の確保や医師や技師、看護師の対応力の向上を図り、令和3年の秋頃にはロボット支援手術を開始していく予定である。

問 がんゲノム医療連携病院を目指すことについて

答 がん患者個々の体質や病状に適した治療を行う「がんゲノム医療」を行うため、県内唯一の拠点病院である県立静岡がんセンターの連携病院となることを目指し、必要な準備を進めている。



手術支援ロボット ダヴィンチXi



藤新会

小林 和彦 議員



高洲地区第2地区交流センターの 設置に向けて

問 高洲南地区交流センターの設置 の必要性に対する認識について

答 地区交流センターは地域行政・地域交流の拠点。高洲地区の人口は増加傾向にあり、利用者も多いことから、コミュニティ機能の充実については認識している。

問 予約が取れにくくなっている状況の把握

答 全ての団体や個人の予約が、希望どおりには取れないので、地域の皆様に不便をおかけしている状況は把握している。

問 地区交流センターの増設の見通しについて

答 今後の社会動向や人口動態などを踏まえ、市全体のバランスを考える中で慎重に検討する。

南部地域の交通渋滞解消に向けて

問 南部地域の主要道路の渋滞状況と対策について

答 幹線道路の交差点を中心に慢性的な渋滞が発生している事は認識しており、渋滞の起点となっている交差点の改良や迂回路となっている市道の整備など、条件が整ったものから実施する。

問 市道藤枝駅吉永線と市道小川島田幹線の交差点の安全対策について

答 この交差点は、高洲南小学校の通学路であり、藤枝明誠高校の通学自転車も多く、安全対策の必要性があることから、本年度、車道と歩道の境界に防護柵を設置したが、更なる対策として、歩車分離式信号機への変更と、歩道中央にある信号柱の移設を予定している。

問 県道高洲和田線と市道交差点の市道側整備について

答 県道高洲和田線の右折帯設置工事が実施されており、市道側の整備についても、旧田沼街道交差点の三叉路が危険になることが予想されることから、整備についても対応していく。

問 志太中央幹線南側区間の早期事業着手について

答 主要地方道藤枝大井川線から市道本町大東町線までの総事業費は約30億円、財源として社会資本整備総合交付金を活用し補助率は2分の1となり、交付税措置として全体事業費の10%で、本市の一般財源による負担割合は、全体事業費から国庫補助金と交付税措置を除いた40%となる。



志太中央幹線(大東町)



市民クラブ

八木 勝 議員



本市における水資源の現状と／その未来について

問 リニア南アルプストンネル工事における水道水・農業用水・工業用水にどの程度影響してくるかシミュレーションをしておく必要があると考えるがいかがか伺う。

答 シミュレーションは、事業者であるJR東海がその責任と費用負担で行うべきものと考えている。今後は、国の有識者会議の議論を注視し、有識者会議の検討結果を踏まえた上で、県や流域市町、利水団体とともにシミュレーションの実施を強く求めるなど、必要な対応をしていく。

問 昨年末から年始にかけて県内はもとより、市内の中小河川の渇水が目立っていたが、その点について本市はどのように把握しているか伺う。

答 平年と比較し降水量が少なく、大井川水系のダム貯水率が平年の49%に対し、29%に低下した。これにより本年1月15日より防火や、水質浄化などの目的でも冬期に利用されている農業用水の取水を10%制限している。今後も利水調整を行っている大井川土地改良区などと連携し、必要な水量の確保に努めていく。



瀬戸川の様子
(撮影：令和2年12月末)



内瀬戸川の様子
(撮影：令和2年12月末)



藤新会

植田 裕明 議員



非常時における行政経営について

問 令和3年度の予算編成における財政状況は？

答 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う企業業績や消費の減速等により、市税をはじめ、各種交付金などの収入は全体的に減収が見込まれる。

そのため、臨時財政対策債のほか、職員の創意工夫による国・県支出金などの特定財源の確保に加え、有事の際に備えた財政調整基金の活用により、必要な財源を確保した。

コロナ禍により国の財政状況も一段と悪化し、社会情勢も不透明であることから、経済動向を注視し、確実な財政見通しのもと、健全な財政運営に努めてゆく。

金比羅山緑地の再整備について

問 四季楽しめる公園としてはどうか。

答 金比羅山緑地には、桜のほか梅やサツキ、ツツジなどがあり、適正な管理を行っているが、桜の季節以外の魅力をより一層高めるとともに、その魅力を広く皆様に知っていただくことも必要であると考

えている。

今後は、樹木の専門家や志太金比羅山保勝会の皆様と相談しながら、新たな魅力に繋がる樹木などの植栽について検討するとともに、四季折々の情報の発信を強化することで、より多くの皆様に魅力を伝え、四季を通じた金比羅山の賑わい創出に努めてゆく。

問 金比羅山は、江戸時代から志太九景（益津落雁、焼津帰帆、藤枝晴嵐、富士暮雪、当目秋月、瀬戸川夜雨、清水晩鐘、鬼岩寺夕照、青木橋螢火）を楽しめる山として知られる。復活してはどうか。



志太九景のひとつ・富士暮雪

答 金比羅山緑地は、蓮華寺池公園とともに「ふじえだ花回廊」を形づくる、本市の誇る重要な観光拠点であり、人の賑わいや交流の創出に大きく貢献している。

第6次総合計画では、本市ならではの地域資源を活かした観光・交流の拡大を戦略の大きな柱としており、現在の金比羅山からの美しい9つの眺望を、現代版「志太九景」として後世に伝えていく試みは、まさにこれと合致するもので、明るく夢があり、魅力のあるものと感じている。美しい眺望と桜や志太九景、古墳などの歴史資源を含め、地域振興策も検討してゆく。



市民クラブ

川島美希子 議員



男女共同参画の防災対策について

問 市内で活躍している地域防災指導員の全体に対する女性の割合は？

答 901人中66人 女性は全体の7.3%

問 藤枝地域防災計画の改訂について審議する藤枝市防災会議の委員の構成とその内の女性の割合は？

答 委員47人の内、女性委員は4名 全体の約8.5%

問 「女性の視点を取り入れた避難所運営リーフレット」の活用は？

答 「藤枝女性防災ネットワーク」が中心となり、自治会や自主防災会の役員及び消防団、避難所運営委員会などで、啓発を実施していく。

問 男女共同参画社会づくり情報誌「Runらんらん」は全戸配布されました。

「女性の視点を活かした備え」などが特集されていたが、このテーマにした理由は？

答 これまで女性の視点が活用されていないという課題があるため、「女性の視点を活かした地域防災」を編集委員がテーマにした。

問 避難所での性被害、性犯罪に対する注意喚起について

答 熊本地震や北九州豪雨では、性暴力やDVの発生があったと聞く。

災害時、女性や子供が被害にあわないための注意喚起は重要。避難所開設時から、ポスター掲示や防犯ブザーなど安全確保について「藤枝女性防災ネットワーク」で検討していく。



内閣府男女共同参画局

「災害対応力を強化する女性の視点」

～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～



志太創生会

増田 克彦 議員



行政のデジタル化について

問 文書管理の電子化の計画は？

答 ガバメントクラウドの活用に向けて令和7年度末までに導入する。電子化により紙文書で約5トンの削減が期待される。

問 行政オンライン申請の100%化の取組は？

答 すべての手続きをオンライン化すべく現況調査を進める。

問 SNSなどによる市から市民への情報発信の計画は？

答 現在フェイスブックとツイッター、インスタグラムの公式アカウントがある。また、LINE（ライン）の公式アカウントを開設予定。（※4月に開設されました）

問 令和3年度に予定されている「4K施策デジタル化」とは？

答 「健康・予防」「災害時の避難」「ゼロカーボンへの寄与」などにデジタル技術を活用する。

問 GIGAスクール構想「1人1台PC」で教育はどう変わる？

答 子どもの個性に合わせた指導や協働的な学びを深めていく。また、AIを搭載したドリル学習ソフトや市独自のソフトを導入する。



①申請等のオンライン化 ②AI等の導入、共同利用等の推進 ③システムの標準化

デジタル自治体のイメージ



子どもの個性に合わせた指導



藤新会

深津 寧子 議員



広幡地区のインフラ整備について

問 法の川の整備と今後の計画について

答 浚渫工事を昨年7月と10月に実施。排水ポンプを新たに2基設置。雨水を下流に送るバイパス水路整備を令和2年度末に完了予定。令和3年度以降、引き続き浚渫工事を実施し、排水ポンプを増設する。

問 梅田川、砂田川の整備状況について

答 梅田川について県が平成29年度から改修事業着手。令和3年度に用地取得を計画。砂田川については堤防の嵩上げ工事に着手している。

問 天王町仮宿線の進捗状況と今後の予定について

答 仮宿工区400mは用地取得と一部道路側溝工事。岡部方面への延伸の検討を進める。潮工区340mはバイパス4車線化に併せて立体交差箇所のための設計業務等の協議を進めている。

問 三輪立花線の事業計画について **答** 広幡地区の一部区間を令和8～12年度事業着手目標。

問 上当間・下当間地区の土地利用の考え方について

答 広域アクセス性が高い為、「新産業・交流誘導エリア」に位置付け、農地の集積・集約化を進めながら、地域特性を活かした新産業や交流機能等の誘導を地域の意向を伺い検討していく。



青年層への取組について

問 青年のひきこもり、心のケア対策の現状と課題

答 令和元年9月に実施した県の引きこもり等の状況調査により、青年層も含め約90名の当事者、世帯を把握している。心のケアに関しては、機関の専門カウンセラーに慎重できめ細かい対応をしていただいている。今後は「出向く相談」へとシフトし、民生委員と連携した地域とのコミュニケーションを育む取組や、就労や福祉サービスに繋げる相談支援体制を構築し、手厚いサポートに取り組む。



藤新会

神戸 好伸 議員



戦没者追悼慰霊碑について

問 遺族会が護る慰霊碑の多くは老朽化が進み、また遺族の高齢化により維持が難しくなっている。支援策を伺う。

答 本市では、毎年終戦記念日に「戦没者追悼・平和祈念式典」を開催し、ご冥福を祈ると共に平和を願う決意を表している。

慰霊碑は市内に46ヶ所あり、遺族会など市民の皆さんが維持管理され慰霊祭も執り行われている事を承知している。皆さんが今後慰霊碑の維持管理について、どんな不安があるかを把握し要望もしっかり聞いていきたい。また国に対し補助対象条件の緩和の要望と、藤枝市独自で対象外となっている補強・補修も、安全性を確保する観点から検討していきたい。



葉梨忠霊塔

タクシー事業者の介護保険事業からの撤退について

問 昨年12月20日を以て、全ての近隣タクシー事業者が介護保険事業から撤退した影響を伺う。

答 介護保険の利用者は、ケアマネージャーとの連携により、福祉タクシーや訪問介護サービスの併用で調整している。また、介護保険適用外の一般利用者のために、公共交通や一般タクシー事業者への対応を検討していく。



市民クラブ

鈴木 岳幸 議員



貧困問題について

学生の貧困について

問 コロナ禍により困窮する学生への支援は、どう行われているか。

答 保護者には「勤労者教育資金貸付制度」による支援を行っており、学生本人には「緊急小口資金」の貸付を紹介している。また、食糧不足の方を支援するフードバンクの利用につなげた例もある。

問 県外へ進学した地元出身の学生に、支援策として地元の産品を送付する事業を行っている市町があるが、同様の事はできないか。

答 県内の市町でそのような事業が行われていることは承知している。先進事例を見ながら検討していきたい。



貧困問題はみんなの問題です

非正規雇用者について

問 非正規雇用者は貧困化しやすいため正社員化が求められるが、正社員化に向けた取組は、どう行われているか。

答 NPOと連携して就労個別相談会などを、令和2年度は2回行い、7組の方が相談に来られた。今後も継続して実施していく。

問 就職氷河期世代の人材を市役所の正規職員として採用する予定があるようだが、詳細はどのようなものか。

答 4月から実施される予定のため詳細はまだ決まっていないが、就職氷河期世代の非正規雇用者を採用する予定となっている。



日本共産党

大石 信生 議員



デジタル化時代の市民協働 《ふじレポ(仮称)》の提案

問 道路の穴ボコや公園の遊具の壊れなど身近な改善要望は、

市民がスマホなどで写真と簡単なレポートをオンラインで市に送れば、すぐに解決するような仕組み《ふじレポ(仮称)》をつくったらどうか。

答 職員間の情報の共有化や事務作業の迅速化のためにもICTを使ったシステムをつくっていききたい。

問 市民からのレポートはWeb上に公開されるので、職員は誰にもわかるし、市民にもオープンになる。

これまで市民要望がどう扱われているかわからなかったが、オープンになることの意義は大きいのでは。

答 市民からの情報や提案の市民全体での共有とその解決の過程の見える化は、行政の透明性、信頼性の向上につながり、協働意識を高めると考える。

問 まず身近な要望から始まるが、市と市民がこの方法に習熟してゆけば、政策論議までオープンでできるように楽しい発展が期待できるのではないか。

答 将来的には、市民との意見交換や政策論議ができる、双方向型の総合的なシステムに発展させたい。

「宇津ノ谷峠」歴史と文化遺産としての尽くせめ価値の継承について

問 宇津ノ谷峠一帯は、「伊勢物語」はじめ、歴史・文化遺産の宝庫だが、平安時代の薦の細道、豊臣秀吉がつくった江戸の道、明治の道と明治トンネル、大正の道と大正トンネル、昭和の道と昭和トンネル、平成の道と平成トンネルと古代から現代までの「峠越えの道の博物館」であり、日本一だ。光を当てるべきでは。

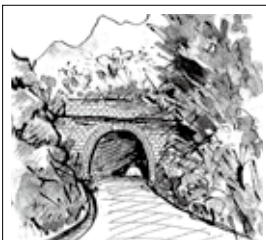
答 峠越えの道は、徒歩から人力車や馬車さらに自動車の現代まで歴史遺産として全国的にも貴重であり、多くの関心が集まるような取り組みにしていきたい。

問 ほかに明治9年に日本初の「銭取りトンネル」で、火災による落盤で埋まったままの幻のトンネルがある。静岡市と掘ったらヒット間違いなしと思うが。

答 「幻のトンネル」は、歴史的事実を検証しながら、日本遺産を共に進める静岡市と活用を検討したい。

問 薦の細道公園は、吊り橋が通行禁止だったり旧岡部町の管理下では起こり得ない状態だが、どうか。

答 吊り橋は至急手を入れて通れるようにしたい。



明治トンネル（正式には、明治第2トンネル）明治第1トンネルは、このトンネルの半分から静岡寄りに落盤で埋まったままになっている（幻のトンネル）画・小林義司



志太創生会

遠藤久仁雄 議員



エシカル(倫理)で環境問題に対応しよう

問 ごみ回収のルールを守らない人、たばこのポイ捨て、犬の散歩のフンの後始末など、残念な人が引き起こす現象が多く見られる。その一方で地区環自協の皆さんや、ごみを回収してくれる業者の皆さんの態度に感服し、感謝感謝です。担当者としてのお気持ちを伺う。



ごみの回収、ありがとうございます！

答 地区環自協の皆様には地域のごみ集積場の管理や、町内会と連携し、資源・不燃ごみの収集日には朝早くから、集積所での分別の指導をしていただいております。また、ごみ減量につながると考えられ感謝しています。また、ごみの回収作業を行う事業者については、マナーの良さや回収後に集積場の掃除を行い清潔にするなど、市民の皆様のゴミ出しの意識を高めることに役立っている。

教育現場へスクールロイヤーの導入が始まる

問 スクールロイヤーが学校を訪れるのはどんな場合か。

答 主に、学校職員への研修会として「いじめが発生した場合、どんな対応をとらなければならないか」や「何気なく使っている言葉遣いなど、人権に配慮した教育」などの講義を行ったり、児童生徒に対して「どんな場合がいじめに該当するのか」や「虐待を受けたと思った場合どうすればよいか」などの授業を行ったりする予定である。

※スクールロイヤー…学校で発生する様々な問題について、子どもの最善の利益を念頭に置きつつ、教育や福祉等の視点を入れながら、法的観点から継続的に学校に助言を行う弁護士

オンラインによる議員研修会を開催しました

令和3年1月25日、「ポストコロナ時代の地方議会のあり方を考える～リスク回避と議会機能維持の両立をどう図るか～」と題した、一般社団法人日本経営協会主催の研修会をオンラインライブ配信で全議員が受講しました。コロナ禍で今なすべきことや、ポストコロナ時代の議会運営についての知見を深めました。



議会は藤枝市議会 ホームページでも ご覧いただけます

藤枝市議会ホームページでは、本会議のライブ中継と録画放映を行っています。市民生活に直結した重要な問題の審議をぜひご覧ください。



【お問い合わせ】議会事務局 ☎643-3552

6月定例会議会

6月定例会議会は、6月7日から6月29日までの23日間で開かれる予定です。

- 6月 7日 本会議1日目★ 議案上程等
- 15日 本会議2日目★ 一般質問
- 16日 本会議3日目★ 一般質問
- 17日 本会議4日目★ 一般質問・議案質疑等
- 18日 現地審査
- 21日 常任委員会
- 22日 常任委員会
- 29日 本会議5日目・採決等★



★藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため本会議場での
傍聴の人数制限を行っていますのでご了承願います。

応募写真コーナー



一年生になるよ！（藤枝市自宅）
撮影：鈴木 仁美さん



藤 満開（蓮華寺池公園）
撮影：寺田 清さん



水面のさくら（蓮華寺池公園）
撮影：金森 一男さん



春の日差しを受けて（内瀬戸）
撮影：小長谷 充朗さん

議会だより表紙の写真・イラスト等募集！

市議会では、年4回（5月・8月・11月・2月）ふじえだ市議会だよりを発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「ふじえだ市議会だより」にするため、表紙の写真を募集します。

●募集する写真・イラスト等

- 写真の場合…市内で撮影された人物・四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真
- イラストの場合…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

●応募方法

住所・氏名・電話番号・写真の場合（撮影場所・撮影日時・タイトルを記入の上）、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

●応募の条件

- 写真の場合…市内で撮影されたもの。
- イラストの場合…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等
- 被写体が人物の場合又は個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人（未成年者の場合は保護者）又は、所有者の承諾を得てください。
- 採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ご応募いただいた写真は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

●選考方法

市議会広報広聴委員会で決定し、掲載します。

●応募の締め切り

8月5日号の締切⇒令和3年6月15日(火)

※詳細については、藤枝市議会ホームページをご覧ください
ただ、議会事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ

藤枝市議会事務局（市議会広報広聴委員会）

住 所：〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1

電 話：054-643-3552

メール：gikai@city.fujieda.shizuoka.jp



訂正とお詫び

藤枝市議会だより217号の応募写真コーナーにおいて、小長谷充朗様の写真が、「三ツ鳥居・みわ神社（岡部町三輪）」とありましたが、正しくは「五智如来（岡部町内谷）」でした。訂正してお詫びいたします。



編集後記

一昨年から続いている新型コロナウイルスの影響が収まる気配を見せませんが、本市でもワクチンの接種が始まりましたが、まだまだ時間がかかるでしょう。

平成22年から実施しております議会タウンミーティングも昨年度は開催することが出来ず、216号の議会だよりにおいてアンケートを実施致しました。その中で市議会に望むことは？の一番多い回答が市民からの意見・要望の聞き取りでございました。開かれた議会を目指してはいるものの道半ばでございます。議員として一層の努力をしていく所存です。

広報広聴委員会委員長 多田 晃

